

平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 8 月 10 日

上場会社名 **常磐興産株式会社** 上場取引所 東証一部
 コード番号 9675 URL <http://www.joban-kosan.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 斎藤 一彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 秋田 龍生 TEL(03)3663-3415

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	9,491	3.9	7	—	△ 79	—	△ 81	—
19年3月期第1四半期	9,132	0.0	△ 148	—	△ 277	—	△ 283	—
19年3月期	47,306		1,099		433		△ 603	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	△ 1.14	—
19年3月期第1四半期	△ 3.94	—
19年3月期	△ 8.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	64,766	15,080	23.3	208.90
19年3月期第1四半期	64,390	15,415	23.9	213.89
19年3月期	63,617	14,896	23.4	206.37

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	1,078	△ 463	1,072	5,221
19年3月期第1四半期	—	—	—	—
19年3月期	805	216	△ 996	3,535

(注) 連結キャッシュ・フローの状況につきましては、当第1四半期より開示しているため、前年同四半期の実績は記載しておりません。

2. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

平成19年5月15日公表の連結業績予想に変更はありません。

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
中間期	22,010	2.6	1,450	79.4	1,050	108.1	650	—	9.02
通期	47,370	0.1	2,150	95.5	1,220	181.5	800	—	11.10

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想は、本資料の発表日現在においての入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当連結第1四半期における我が国経済は、米国経済の減速や金利上昇等が懸念されますものの、底堅さを保つ輸出関連業種を始めとして企業収益の好調を反映して設備投資は増加し、個人消費も堅調で、景気は依然緩やかな回復基調で推移いたしました。

①観光事業は、主力のスパリゾートハワイアンズにおきまして、首都圏の提携店舗の増やいわき湯本温泉との提携販売の推進に努め、また映画『フラガール』効果による首都圏からの利用者増とともに3月オープンの新施設『ワイワイ・オハナ』により地元圏を主とした集客に奏功し、各月利用人員が10万人を突破するなど好調に推移いたしました。またクレストヒルズゴルフ倶楽部においては首都圏からの宿泊ゴルフパックが増加いたしました。一方、ホテルクレスト札幌は道外客の利用者数が減少いたしましたものの、当部門全体としては堅調に推移いたしました。

この結果、利用人員は、ハワイアンズ（日帰り）が335千人（前年同期比16千人、5.3%増）、ホテルハワイアンズ（宿泊）が80千人（前年同期比1百人、0.2%増）、クレストヒルズゴルフ倶楽部が13千人（前年同期比4百人、3.4%増）、山海館が1千人（前年同期比2百人、9.6%減）、ホテルクレスト札幌が11千人（前年同期比7百人、5.8%減）となり、売上高は27億43百万円（前年同期比1億67百万円、6.5%増）となりました。

②卸売業は、燃料商事事業部におきまして、販売数量は石炭・石油部門ともほぼ前年並に推移いたしましたものの石炭の販売単価の上昇に伴い、売上高は32億17百万円（前年同期比1億70百万円、5.6%増）となりました。

③製造関連事業は、包装部材製造部門において、液晶部品・自動車・IT・樹脂関連の製品等の需要が鈍化するとともに、プラスチック製品の販売単価見直し等の影響をうけて減収となり、また鉄鋼機械部門については産業機械等海外への輸出が好調に推移した結果、売上高は20億87百万円（前年同期比89百万円、4.1%減）となりました。なお、前期に鉄鋼機械部門の1社が連結除外となりました。

④建設・土木業につきましては、公共事業において一般競争入札制度の導入や事業縮小による過当競争から依然受注環境は厳しい状況にあるなか、コスト削減や業務の効率化を図り、受注目標の達成に努めておりますものの、落札率は依然低水準にあり厳しい状況で推移しました。売上高は、昨年よりの繰越工事物件が竣工したことにより7億80百万円（前年同期比43百万円、6.0%増）となりました。

⑤不動産事業につきましては、販売用不動産の売却の減少と賃貸売上の減少により、売上高は84百万円（前年同期比17百万円、17.0%減）となり、またその他の事業につきましては、主に石油小売が好調に推移したことにより、売上高は5億76百万円（前年同期比84百万円、17.1%増）となりました。

この結果、当社グループの売上高は、94億91百万円（前年同期比3億58百万円、3.9%増）、営業利益は7百万円（前年同期は営業損失1億48百万円）、経常損失は79百万円（前年同期の経常損失は2億77百万円）、当第1四半期純損失は81百万円（前年同期の純損失は2億83百万円）となりました。

なお、当社グループの売上高は、観光事業が第2四半期に集中し、建設・土木業が下期に集中するため、第1四半期は他の四半期に比べ低水準となる傾向にあります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期における総資産は、前連結会計年度に比べ1,149百万円増加し、64,766百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加と受取手形及び売掛金の減少によるものであります。負債につきましては前連結会計年度に比べ965百万円増加し、49,686百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、短期借入金の増加によるものであります。純資産につきましては、前連結会計年度に比べ183百万円増加し、15,080百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成19年5月15日公表の連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理方法における簡便な方法の採用の有無

影響額が僅少な項目については、簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

当連結会計年度より、法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 平成19年3月期 第1四半期末	当四半期末 平成20年3月期 第1四半期末	増 減		(参考) 前期末 平成19年3月期末
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
I 流動資産	10,314	12,574	2,260	21.9	11,925
現金及び預金	3,491	5,229	1,737	49.8	3,542
受取手形及び売掛金	4,302	4,778	475	11.1	5,815
有価証券	55	10	△ 45	△ 81.8	9
たな卸資産	1,595	1,625	29	1.8	1,549
その他	906	948	42	4.7	1,027
貸倒引当金	△ 37	△ 17	20	△ 53.8	△ 19
II 固定資産	54,056	52,128	△ 1,927	△ 3.6	51,624
有形固定資産	43,701	41,906	△ 1,795	△ 4.1	41,839
建物及び構築物	15,708	14,827	△ 880	△ 5.6	14,977
機械装置及び運搬具	1,178	1,069	△ 109	△ 9.3	1,107
工具、器具及び備品	378	309	△ 68	△ 18.2	329
土地	26,434	25,687	△ 747	△ 2.8	25,392
建設仮勘定	2	11	9	491.0	31
無形固定資産	129	51	△ 77	△ 60.2	52
投資その他の資産	10,225	10,171	△ 54	△ 0.5	9,732
投資有価証券	9,093	9,313	220	2.4	8,819
長期貸付金	1,092	1,694	601	55.1	1,073
その他	1,136	850	△ 286	△ 25.2	906
貸倒引当金	△ 1,096	△ 1,686	△ 590	53.8	△ 1,065
III 繰延資産	19	63	43	221.4	67
資産合計	64,390	64,766	376	0.6	63,617
(負債の部)					
I 流動負債	26,353	23,679	△ 2,674	△ 10.1	22,260
支払手形及び買掛金	3,140	4,627	1,486	47.3	3,912
短期借入金	17,516	14,244	△ 3,272	△ 18.7	12,646
一年内償還社債	1,056	1,152	96	9.1	1,152
未払金	909	897	△ 11	△ 1.2	2,008
未払法人税等	53	43	△ 10	△ 20.2	105
賞与引当金	487	444	△ 42	△ 8.7	434
工事損失引当金	—	69	69	—	75
その他	3,190	2,200	△ 989	△ 31.0	1,924
II 固定負債	22,620	26,006	3,385	15.0	26,459
社債	1,515	2,885	1,370	90.4	2,935
長期借入金	12,359	14,917	2,558	20.7	15,391
預り保証金	1,854	1,518	△ 335	△ 18.1	1,627
負ののれん	49	38	△ 10	△ 21.1	41
繰延税金負債	6,463	6,180	△ 283	△ 4.4	5,995
退職給付引当金	150	153	2	1.8	142
役員退職慰労引当金	217	205	△ 11	△ 5.5	217
環境対策引当金	—	103	103	—	103
その他	11	5	△ 6	△ 54.0	5
負債合計	48,974	49,686	711	1.5	48,720
(純資産の部)					
I 株主資本	12,264	11,678	△ 585	△ 4.8	11,763
資本金	10,221	10,221	—	—	10,221
資本剰余金	1,625	506	△ 1,119	△ 68.9	1,625
利益剰余金	479	1,016	536	111.7	△ 19
自己株式	△ 62	△ 64	△ 2	4.1	△ 63
II 評価・換算差額等	3,124	3,375	250	8.0	3,108
III 少数株主持分	26	26	0	0.9	25
純資産合計	15,415	15,080	△ 335	△ 2.2	14,896
負債、純資産合計	64,390	64,766	376	0.6	63,617

(2) (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 平成19年3月期 第1四半期	当四半期 平成20年3月期 第1四半期	増 減		(参考) 前期 平成19年3月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	9,132	9,491	358	3.9	47,306
II 売上原価	8,116	8,403	286	3.5	41,559
売上総利益	1,016	1,088	71	7.1	5,747
III 販売費及び一般管理費	1,164	1,080	△ 84	△ 7.2	4,647
営業利益又は営業損失 (△)	△ 148	7	156	—	1,099
IV 営業外収益	80	124	44	54.9	341
V 営業外費用	209	211	2	1.1	1,007
経常利益又は経常損失 (△)	△ 277	△ 79	198	—	433
VI 特別利益	24	9	△ 15	△ 62.0	330
VII 特別損失	6	1	△ 4	△ 71.7	1,507
税金等調整前四半期 (当期) 純損失	259	71	△ 187	—	742
法人税、住民税及び事業税	17	9	△ 7	△ 44.5	87
法人税等調整額	5	△ 1	△ 7	—	△ 226
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	0	1	0	199.1	△ 1
四半期 (当期) 純損失	283	81	△ 201	—	603

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	当四半期 平成20年3月期 第1四半期	(参考) 前期 平成19年3月期
		金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純損失		△ 71	△ 742
減価償却費		319	1,228
減損損失		—	1,003
負ののれん償却額		△ 2	△ 10
貸倒引当金の減少額		△ 3	△ 63
賞与引当金の増加額・減少額(△)		9	△ 4
退職給付引当金の増加額		10	3
役員退職慰労引当金の減少額		△ 12	△ 30
工事損失引当金の増加額・減少額(△)		△ 6	72
環境対策引当金の増加額		—	103
受取利息及び受取配当金		△ 68	△ 77
支払利息		189	743
社債発行費償却		4	20
持分法による投資利益		△ 46	△ 184
固定資産売却益		△ 5	△ 231
固定資産売却除却損		1	325
投資有価証券売却損益		—	△ 23
投資有価証券評価損		—	6
売上債権の減少額・増加額(△)		1,036	△ 876
たな卸資産の増加額		△ 75	△ 324
その他流動資産の増加額		△ 55	△ 453
仕入債務の増加額・減少額(△)		△ 273	1,064
未払消費税等の増加額・減少額(△)		106	△ 464
その他流動負債の増加額		193	642
預り保証金の減少額		△ 109	△ 225
その他		24	60
小計		1,166	1,561
利息及び配当金の受取額		73	82
利息の支払額		△ 105	△ 714
法人税等の支払額		△ 55	△ 123
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,078	805
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出		△ 7	△ 33
定期預金の払戻による収入		6	40
有価証券の償還による収入		—	55
固定資産の取得による支出		△ 497	△ 567
固定資産の売却による収入		35	630
投資有価証券の取得による支出		△ 1	△ 23
投資有価証券の売却による収入		—	44
貸付による支出		△ 3	△ 18
貸付金の回収による収入		5	40
その他		—	50
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 463	216
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金純増加額・純減少額(△)		1,657	△ 2,916
長期借入れによる収入		300	10,115
長期借入金の返済による支出		△ 834	△ 9,612
社債発行による収入		—	2,584
社債償還による支出		△ 50	△ 1,184
自己株式の取得による支出		△ 0	△ 1
配当金の支払額		△ 0	△ 1
少数株主への株式発行による収入		—	19
少数株主への配当金の支払額		—	△ 0
財務活動によるキャッシュ・フロー		1,072	△ 996
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		0	△ 3
V 現金及び現金同等物の増加額		1,688	21
VI 現金及び現金同等物期首残高		3,535	3,697
VII 連結子会社除外に伴う現金及び現金同等物の減少額		△ 1	△ 183
VIII 現金及び現金同等物四半期末(期末)残高		5,221	3,535